

各 位

会社名 ソーバル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 推津順一
 (コード番号：2186)
 問合せ先 取締役経理財務部長 岩崎恭治
 (TEL：03-5482-1222)

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向および経営環境を踏まえ、平成21年4月10日付当社「平成21年2月期決算短信(非連結)」において発表いたしました平成22年2月期(平成21年3月1日～平成22年2月28日)の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成22年2月期 通期業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	6,600	500	500	275	円 銭 126 62
今回修正(B)	5,740	0	0	△30	△13 81
増減額(B-A)	△860	△500	△500	—	—
増減率	△13.0%	△100.0%	△100.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年2月期)	6,828	741	728	422	219 97

2. 修正理由

世界における景気後退は、各国における景気対策などの効果により、中国やインドなどの一部地域において、回復の傾向も見られます。しかしながら、当社の主要顧客であるデジタル家電メーカーにおいては、米国、欧州や日本などの先進諸国での個人消費やオフィス需要の低迷が続き、厳しい状況が続いてまいりました。当社においても、その影響を避けることが出来ず、大型案件の失注や、新規案件獲得のための営業の不振などにより、売上高が大幅に減少いたしました。営業利益及び経常利益に関しましては、当社の財産は人であるとの理念の下、雇用を確保し、人件費の抑制を最小限に抑えつつ、その他経費の削減に努めましたが、売上の減少を補うには至らない見通しとなりました。また、当期純利益に関しましては、税金費用等の計上により、前回予想を下回る見通しです。

今後は、営業力の強化、経費削減を引き続き進めてまいりますが、現在の経済環境も、円高や株価の低迷などの不透明感の強い様相を呈しており、主要顧客における急回復を見込むことは難しいことから、通期の業績予想を修正することといたしました。

3. 配当予想修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成21年4月10日発表)	円 銭 —	円 銭 28 00	円 銭 38 00
今回修正予想	—	0 00	10 00
当期実績	10 00	—	—
前期(平成21年2月期)実績	0 00	54 00	54 00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への長期的利益還元を経営課題の一つとして考え、当社において将来可能性がある企業買収や設備投資、研究開発等のための内部留保の充実を図るとともに、安定的かつ継続的な利益還元策の実施を目指すことを基本方針としております。しかしながら、当期業績は当初の予想を大きく下回ることが見込まれるため、今回、誠に遺憾ではありますが、期末配当は見送らせていただく予定です。

以 上